

第5回

ベトナムプラスチック視察団報告

長谷川国際技術士事務所 所長
NPO: ATCN 理事長
長谷川 正 (Tadashi Hasegawa)

【目的】今回のベトナム視察団の目的は

- 1) メコン周辺国の中でも近年急成長のベトナムの現状調査
- 2) ホーチミンで開催される第19回工業機械、プラスチック、包装容器展 (IIME) の見学
- 3) ベトナムプラスチック企業の視察
- 4) 第5回、ベトナム 日本共同開発シンポジウム開催
- 5) JICA ベトナムとの人材教育草の根プロジェクトのベトナム側パートナー (ITPC) との最終調整と現地 NGO 設立申請などが目的であった。

1) ベトナムの現状

ATCN ではこれまで5回の視察団を送ってきたが2010は5月と12月にベトナム各地を視察してきた。そのなかで特にこの1~2年でベトナムが変化した点はオートバイから乗用車、タクシーが急激に増加した点、道路の整備も進み信号の数も増加した。郊外に通ずる道路も幅広い有料道路の開通が非常に目についた。住宅事情も変化が始まり構想マンションの建設も進み郊外へと伸びている。

2) 工業機械、プラスチック、包装容器展

プラスチックは今回、昨年訪問したドイツ K 見本市系列の第 3 回国際プラスチック展では IIME の展示会のためドイツ、イタリアなど欧米企業の出展はなく主に台湾、中国、タイ国からの出展が目立った。特に気のついた企業としては MINH HUNG PLASTIC の PVC パイプ、継手、類の出展やブロー成形によるボトルの出品が多く見られた。温水シャワートイレの出展もあった。タイ国からは FRP による水タンクやアクリル製のバスタブなどの出展もあり隣国タイとの技術的相互関係がよく理解出来る。

中国企業からの押出機、射出機、ブロー成形機など多く見られた。海天や JINXIN 機械など最大手企業の出展もあった。ベトナムのプラスチック企業では大手企業はドイツ、イタリアの機械を導入し中小企業はこれまで台湾の機械が多かったが今後は中国の機械がコスト的・性能的にも浸透するであろう。原料、添加剤、コンパウンド類はバンコックからの出展が多い。

(写真 1～7)



(写真 1)



(写真 2)



(写真3)



(写真4)



(写真5)



(写真6)



» Thành lập từ năm 2003, đến nay Công ty TNHH SX - TM Nhựa CHI THANH V.N đã có những thay đổi bước ngoặt để mở nên nhà sản xuất hàng đầu trong ngành bao bì nông nghiệp - thủy sản.

» Với sự nỗ lực không ngừng, công đội ngũ kỹ sư đầy kinh nghiệm và nhân viên chuyên nghiệp, năng động, chúng tôi đã xây dựng thành công dây chuyền sản xuất khép kín từ thiết kế - chế tạo khuôn mẫu đến lắp ráp thành phẩm những thiết bị chuyên dùng để làm ra những sản phẩm bao bì dùng gói cao cấp, nhằm nâng cao giá trị cho mặt hàng nông sản, thủy - hải sản Việt Nam.

» Đột lên hàng đầu tiêu chí CHẤT LƯỢNG, tất cả sản phẩm của Cty CHI THANH V.N đều được sản xuất theo quy trình 3 trường nghiệm ngặt, đáp ứng được yêu chuẩn khắt khe của Châu Âu và Nhật Bản.

(写真7)

3) 企業訪問

1. DAI DONG TIEN

ベトナムの中で射出成形、ブロー成形による一般家庭用品の製造がメインで工場は2箇所があり工場敷地も5万平方メートルあり1983年から創業している。製品は3000以上の種類があって各種食品容器、キャビネット類、椅子、保冷容器類、清掃容器類、コンテナ、パレットなど多岐に及んでいる。従業員は製造販売含めて約2000人、製品の10%は海外30カ国へ輸出している。技術はドイツ、日本、スイスから勉強し金型も自社製造しているとのことであった。

今回 TRINH CHI CUONG 社長と工場長、購買部長に面会したが広州の展示会でも再開して挨拶を交わした。

2. CHI THANH 社オートバイ用ヘルメット製造工場

ABS による射出成形の後、塗装。内装組み立て製品化、社長の息子が東海大学を卒業し社長の補佐役まだ1年目。今後工場改善の必要性提案。

Tダイによるフィルムの押し出し、ラミネート、中間層に泡発泡層を形成させてクッション断熱シートも製造していた。この技術は応用範囲が広いので今後期待できる。

3. HAI VINH 社 ; プラスチックフィルム袋製造

インフレーションによる PP バッグ



G.I.P™ Sản phẩm theo đơn đặt hàng
OEM



WATER CONTAINERS

ถังน้ำ พี.พี. เป็นผลิตภัณฑ์ที่คิดค้นและพัฒนาโดยหน่วยงานพัฒนาผลิตภัณฑ์ของบริษัท ผลิตด้วยไฟเบอร์กลาสเสริมแรง และผ่านการตรวจสอบคุณภาพโดยมาตรฐาน มอก. 435-2525 รับประกันคุณภาพ 10 ปี เหมาะสำหรับรับบรรจุน้ำเพื่อบริโภคและอุปโภค ปลอดภัย ไร้สารพิษ น้ำหนักเบา ไม่เป็นสนิม มีทั้งแบบฝังดิน และแบบติดตั้งบนอาคาร

P.P. WATER CONTAINER is made from Fibreglass Reinforced Plastic (FRP) which has been developed and impeccably tested to meet the Thai Industrial Standard requirements for hygiene in water storage container. P.P. water containers are lightweight, durable and available for both underground and roof-top installation.



Lightweight with a variety of shapes and styles

4) 第5回ベトナム 日本プラスチック共同開発シンポジウム開催

NICD の MINTRENH 会場において日本側視察団 14 名、ベトナム側 45 名ベトナム政府の ITPC 代表 TU MINH THIEN 氏、NGUYEN THI NGAN GIANG「投資促進部門ヘッド」TRAN TRI HAI ANH(訓練部門代表)、ベトナム弁護士会会長、国際ビジネス法律アカデミー代表、ベトナム国立大学教授、サイゴンタイムズレポーターなどやベトナム企業経営者が多く参加した。JICA ホーチミンの石田所長も参加し NICD 代表ユン先生の司会のもとに ITPC、JICA、ATCN の各代表の挨拶から議事が進められた。講演内容はベトナム企業に対するイノベーションの必要性、2011 - 2014 の間に開催される ATCN のプラスチック加工技術、金型技術、各企業現場での KAIZEN 指導などの説明の他、プラスチックリサイクル材料の有効活用によるコストダウン、リサイクル加工技術、中国でのリサイクル事業の実態説明や PET リサイクル材料による押出加工製品の紹介、WPC、パット印刷による加飾技術の説明、微細穴加工フィルム袋による果樹、保護、商品価値向上効果の説明などが日本側再度より提案があり活発な質疑応答がなされた。

5) JICA の草の根人材育成プロジェクト

JICA の草の根人材育成プロジェクトとして、日本側を ATCN が担当しベトナムでの活動のため現地 NGO を設立手続きやベトナム側受け入れパートナーである ITPC との役割、事業計画、効果、将来効果など JICA、ITPC、ATCN に NICD の代表が参加し書類の同意を得た。書類は 10 項目の詳しい内容について英語ベトナム語で作成し最終的ベトナム語文書をベトナム政府、担当部署、人民委員会へ提出することになった。1 年以上の準備が必要であったがやっと最終提出に繋げることができた。

以上